

# 2014年度UNISEC総会代表者会議資料 ～UNISEC学生ロケット共同開発プロジェクト～

東海大学工学部航空宇宙学科学部3年

浦橋悠太郎

# 目次

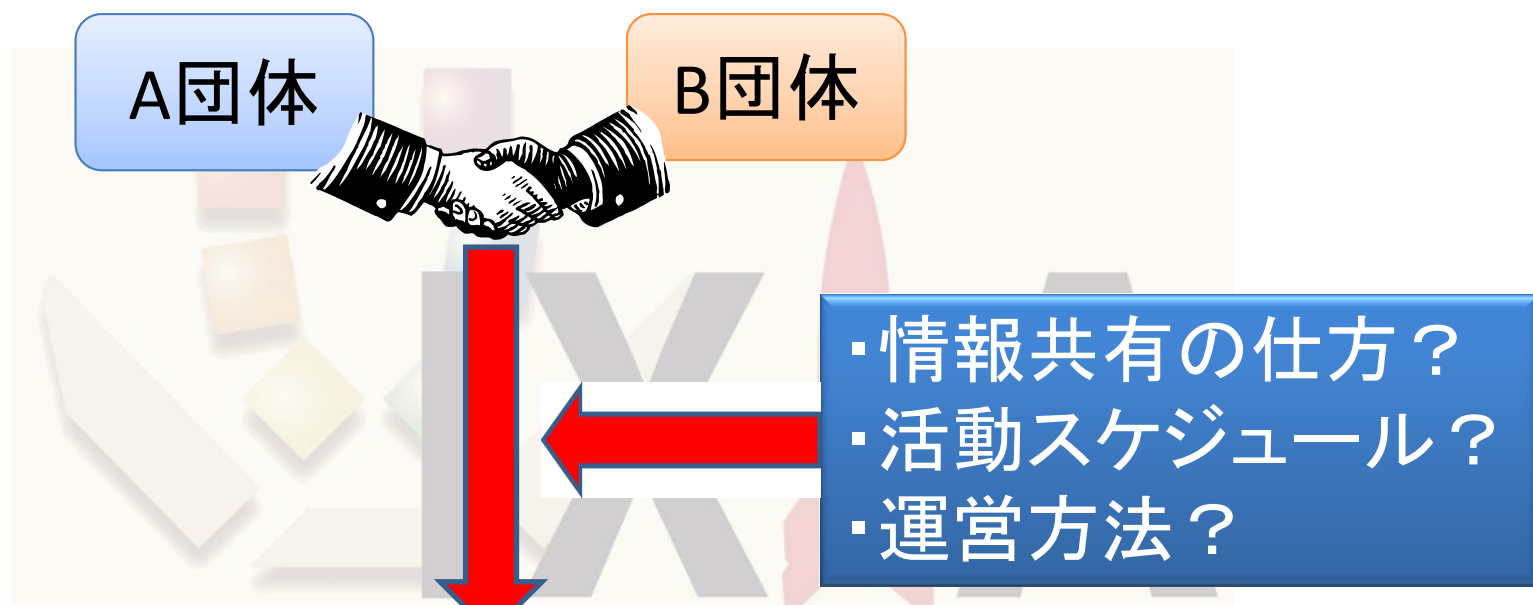
- 本プロジェクトの目的と内容
- 2013年度活動報告
- 予算使用状況



# 本プロジェクトの目的と内容

今後のUNISEC

共同開発



- ・ロケットの開発を通して共同開発の土台を築く
- ・団体の技術力の向上を図る

# 2013年度の活動報告

- 第2回技術交流会を実施
  - 日時: 3月27日      ▪ 場所: 東海大学
  - 参加団体: 秋田大学、大阪府立大学  
芝浦工業大学、東北大学  
日本大学、東海大学
  - 合計参加人数: 28名
  - 内容: 各団体によるレクチャー  
実物展示  
作業場見学

# 2013年度の活動報告



第2回技術交流会の様子

# 2013年度の活動報告

## 参加者から

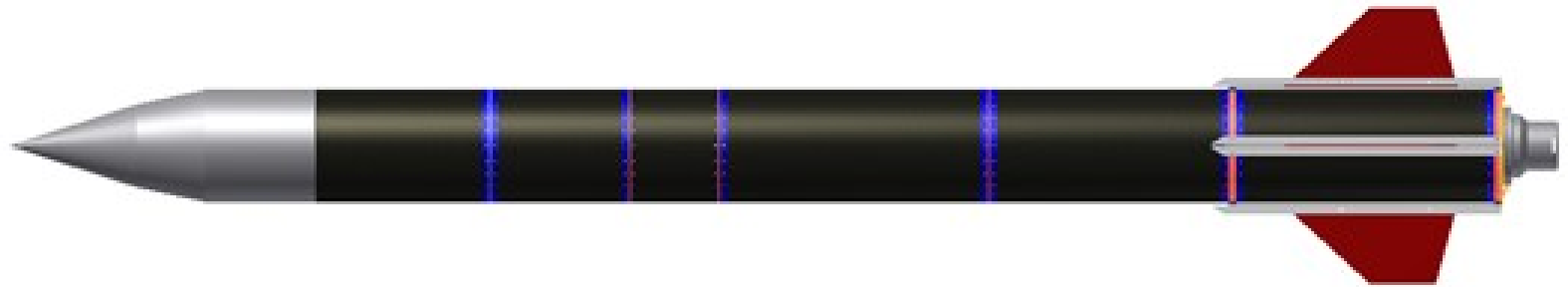
- レクチャー＋実物展示＋作業場見学は理解しやすかった
- 加工精度や機構など参考になる情報がたくさん得られた
- 実際に得た情報は自団体に活かせることができた
- 当日はとても有意義に過ごすことができた

# 2013年度の活動報告

「各団体で技術立証済みで提供しても今後の活動に影響が出ない物」という条件でコンポーネントの募集を行った

提供元大学	提供可能物品
東海大学	分離機構、ボディチューブ、カプラー
秋田大学	ボディチューブ、カプラー
大阪府立大学	カプラー(エンジニアリングプラスチック)

# 2013年度の活動報告



機体イメージ

コンポーネント名	提供元及び担当
エンジン	購入or秋田大学
タンク	購入
機体外装	秋田大学
計器	東海大学
分離機構	東海大学
パイロード(CanSat)	未定
機体結合部材	大阪府立大学
シミュレーション	未定

年	月	活動内容
2014	9	
	10	デザインレビュー
	11	製造
	12	
2015	1	
	2	インテグレーション試験
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	最終チェック
	8	打ち上げ



# 2013年度の活動報告

- 2013年度予算使用状況

使用項目	金額
第一回技術交流会交通費補助	20000円
第二回技術交流会交通費補助	60000円
使用合計	80000円
残金	20000円

# 最後に

- 技術交流会を通して
  - ・メンバーの知識や技術がついた
  - ・参加団体も自団体で活かせる技術を得られた
- 年間を通して
  - ・参加している団体間の横のつながりが増えた
  - ・来年度製造するロケットの概要も決定

**2013年度の目標は達成し、成果も得られた**

ご清聴ありがとうございました



第2回技術交流会にて

- チーム名とロゴが決定

- チーム名 : IXIA

- 由来 : 花言葉の「団結」という意味から

- ロゴ :

